

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年							2025年												
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~7日	12月 ~14日
カンピロバクター	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	6	6
病原性大腸菌	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	9 (13)	18
腸管出血性大腸菌	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	0
サルモネラ	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	1 (2)	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	3 (4)	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0
ノロウイルス	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第50週(12月8日~12月14日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4					4		
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	3	レジオネラ症	3		2					1
五類	29	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		後天性免疫不全症候群(HIVを含む)	1	1						
		侵袭性肺炎球菌感染症	3	1		1		1		
		水痘(入院例)	1					1		
		梅毒	8	1				5		2
		百日咳	15			1		5	1	8

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年50週(12月8日～12月14日)

■コメント

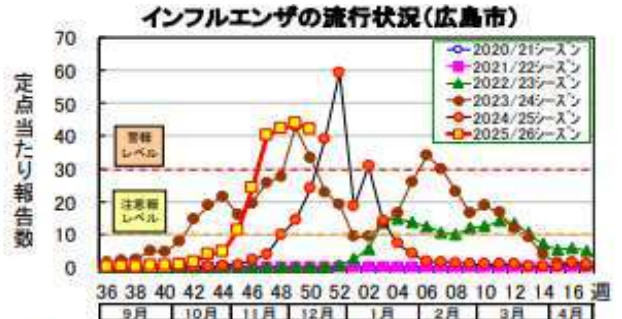
1 インフルエンザ

定点当たり41.97人の報告があり、多い状況が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告は75件と増加が続いています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第50週 A型:249人、B型:2人

2 感染性胃腸炎

定点当たり4.95人の報告がありました。例年冬季に増加する傾向があり、注意が必要です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。



年末年始に海外へ渡航される皆様へ

渡航先で流行している感染症の情報を事前に入手し、注意すべきことを確認しましょう。

海外に行く場合は、感染症予防も忘れずに！(広島市)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1027974/1022982.html>



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	3000	85.71		→	小児科	突発性発しん	6	0.27	0.33	
	インフルエンザ	1469	41.97	11.46	→		ヘルパンギーナ	-	-	0.37	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	14	0.40		→		流行性耳下腺炎	-	-	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	18	0.82	0.12	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	咽頭結膜熱	-	-	1.45			流行性角結膜炎	5	0.63	0.48	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	3.68	1.71	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	109	4.95	5.30	→		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	8	0.36	0.18			マイコプラズマ肺炎	14	2.33	1.03	
	手足口病	6	0.27	0.86			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	10	0.45	0.04			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 → 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ⇐ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科 定点数	22
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	112	60歳代・1人、80歳代・2人、90歳代・1人
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	17	70歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	28	80歳代
5	水痘(入院例に限る)	1	6	80歳代
5	梅毒	5	144	20歳代、20歳代・推定感染地域: 国外、30歳代、40歳代、50歳代
5	百日咳	5	1029	10歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・3人